

令和3年度 ブロック共催事業実績一覧

1 南ブロック(崇善・須賀・松原・富士見・花水・なでしこ)

月日	講座タイトル	学習内容	講師	人数
11月23日(火・祝)	波の力で電気を作る? ～波力発電所で学ぶ STOP!地球温暖化～	波力発電の仕組みと地球温暖化について学ぶ (会場:なでしこ公民館、平塚波力発電所)	東京大学 特任 研究員 永田 隆一	23
12月19日(日)	公民館婚活応援隊!～ 今どきの婚活事情、教 えます～	結婚式の変遷、婚活の進め方などを 知る (会場:富士見公民館)	NPO 法人 湘南 ウェディングサポ ート 長澤 浩一	19

2 東ブロック(大野・八幡・四之宮・中原・松が丘・大原・南原)

月日	講座タイトル	学習内容	講師	人数
8月1日(日)	8月の主な天文現象 (集まらない事業) (共催:平塚市博物館)	天文現象の紹介	-	-

3 北ブロック(神田・横内・大神・岡崎・豊田・城島)

月日	講座タイトル	学習内容	講師	人数
11月1日(月)	歩いてみよう!平塚周辺 の大山道 (集まらない事業)	北ブロック公民館の各地を通る「大山道」の見どころを学ぶ	平井 晃、公民館 主事	-
1月15日(土)	世界名曲の旅14～や すらぎコンサート～	東海大学学生による演奏会 (会場:大神公民館)	東海大学大学院 芸術学研究科学 生	47
3月26日(土)	基礎から学ぶ走り方教 室	正しい走り方の基礎を学ぶ(会場: 大神4号公園)	山口 力也、公民 館主事	15

4 西ブロック(金目・金田・土屋・吉沢・旭南・旭北)

月日	講座タイトル	学習内容	講師	人数
8月6日(金)	夏休み親子科学教室	液体窒素-200℃の低温体験、スライム・ホタルの光をつくる (会場:旭南公民館)	神奈川大学 理 学部教授 加部 義夫	47

月日	講座タイトル	学習内容	講師	人数
11月5日(金)	秋の星空観察会とプラネタリウム見学	星空観察会、プラネタリウム見学(会場:平塚市博物館)	平塚市博物館 学芸員	36
11月29日(月)	知恵袋バンク登録講師による生活力アップ講座	①身近なものでできる防護服づくり、②美しい文字の書き方を学ぶ(会場:旭北公民館)	①女性防災クラブ平塚パワーズ、 ②三原 千鶴子	7

<歩いてみよう!平塚周辺の大山道>



江戸時代中期から、庶民の間で広がった大山信仰。農民や町人は謂(こと)を願(ねが)ひ、白衣を着用して参詣し、豊作祈願、難病治癒、家内安全、防災招福、商売繁盛などを祈願するのですが、これに伴い大山に向かう様々なルートが整備され、大山道と総称されます。平塚市の公民館北ブロック(神田、横内、大神、岡崎、星田、城島)は数ある大山道の中でも特に主要なルートが複数通りあります。今回は田村通り大山道と、中原星田通り大山道の2つを組み合わせ、ぜひ散歩コースに活用してみてください。

なお、土地区画整理や道路改良などによって必ずしも往時の道と完全には一致しないこと、時代によって経路の変遷があること、そもそも今のように行政が大山道の区間を具体的に定めていたわけではないので、大体的目安とご理解いただくと幸いです。(監修:神田郷土史研究会 平井 亮)

写真本文:平塚市公民館北ブロック主催
参考文献:『キャッチ!大山街道(中平藤次郎著 風人社)、平塚市博物館研究報告「自然と文化」第37号 各地の解説版など

<8月の主な天文現象>

☆彗 8月の主な天文現象

こんにちは!平塚市博物館で天文を担当している、学芸員の藤井大地です。今回は公民館だよりの紙面をお借りして、8月の星空をご紹介します。8月中旬にはペルセウス座流星群がピークを迎え、木星と土星が夕方に仲良く並んで見やすいです。

★8月13日未明 ペルセウス座流星群がピーク



2018年8月13日4時に平塚から撮影したペルセウス座流星群の明るい流れ星(火球)

毎年お盆の時期には、ペルセウス座流星群がピークを迎えます。今年は月が綺麗いで晴い流れ星まで見ることができます。

一番多く流れるのは、8月12日深夜から13日明け方です。数日は活発に活動していますので、もし天気が悪かったら、前後の晴れた日でも観察できます。

流れ星には、「流れている間にお願(ねが)い事を3回と念えると願いが叶う」というおまじないがありますね。たくさんお願(ねが)いごとをするにはコツがあって、空が暗く、周りに建物が少ない、視野の広いところで観察するとよいです。また、流れ星はどこで光るかわからないので、なるべく全体を見渡しましょう。

★彗8月14日 伝統的七夕

私たちが今使っている太陽を基本としたカレンダーでは、七夕は7月7日です。でも、昔の人が使っていた月を基本としたカレンダー(旧暦)では今年も8月14日が七夕で、伝統的七夕と呼ばれています。織姫さまと彦星さまは、天の川をお月さまの舟に乗って渡るといってお話があって、伝統的七夕の日は月が必ず舟の形になっています。夕方、南西の低い空を探してみてください。

★彗8月中 木星と土星が衝(しょう)

木星と土星が、夕方は南東、夜中は西の空で並んでいます。明るい方が木星で、やや暗い方が土星です。今年はこちらも8月に衝(しょう)：地球から見て太陽と反対に見える位置)を迎えるので、1年で最も明るく輝いています。ぜひ観察しましょう。